

目的：学生、教職員及びその家族の健康と安全を確保しつつ、安心して教育研究活動を行うことのできる環境を維持する。

目標：(1) 大学における感染の連鎖を防止すること
 (2) 学生の学修機会を確保し、例年と同程度に近い単位修得を実現する。

戦略：対面指導を必須としない授業については、ネットやその他の通信手段を活用した遠隔授業を実施する体制を整備し、感染拡大の状況に応じて、対面型授業と遠隔授業を適切に組み合わせて実施する。感染の拡大状況に応じて、学修活動以外の学生による課外活動については自粛を要請、状況に応じて禁止する。安全な会議のあり方、勤務体制を構築する。

BCPは全学共通を原則とするが、感染状況に応じて、部局ごと又は活動内容ごとの適用とすることもある。このBCPは状況の変化に応じて随時見直す。

ALERT Level		授業・実習	研究活動	課外活動	各会議	勤務体制*
0	Blue					
1	Green	感染拡大防止に最大限の配慮※を しての対面授業を継続。 ・遠隔授業※も可とする。 ・感染拡大防止が困難な演習・実 習は代替授業・延期等を検討。	感染拡大防止に最大限の配慮 ※をして実施。	感染拡大に最大限の 配慮※をした活動は 許可。	感染拡大防止に最大限 の配慮※。 オンライン会議を推奨。	感染拡大防止に最大限の配慮※をし つつ、ほぼ通常の勤務体制。
2	Yellow	感染拡大防止に最大限の配慮※を しての対面授業を継続。 ・当該クラス等の学生は入構を 禁止、遠隔授業※で対応。	感染拡大防止に最大限の配慮 ※をして実施。	感染拡大に最大限の 配慮※をした活動は 許可。	感染拡大防止に最大限 の配慮※。 オンライン会議を推奨。	感染拡大防止に最大限の配慮※をし つつ、ほぼ通常の勤務体制。 シフト勤務を工夫して対応。
2.5	Yellow -high	原則、遠隔授業※ ・教員の在宅勤務を許可 ・学生は原則入構禁止 ・遠隔授業受講の Wi-fi 利用学 生の入構は許可 ・感染拡大防止に最大限の配慮※ をした演習・実習は許可	研究活動継続に必要な研究ス タッフ（大学院生・研究員） の入構を許可。 ・滞在時間を削減 ・在宅での研究活動を推奨	原則、禁止	感染拡大防止に最大限 の配慮※をした最小限の 対面会議を許すが、原則 として、オンライン会 議。	一部の業務の遅滞を許容。 感染拡大防止に最大限の配慮※をし つつ、職員の時差出退勤と業務内容 によって在宅勤務を推奨。
3	Orange	遠隔授業※のみ ・教員の在宅勤務を許可 ・学生は入構禁止 ・演習・実習は中止又は延期	研究スタッフ（大学院生・研 究員）の入構は、装置の機能 維持等に限定。	全面禁止	原則、オンライン会議	重要業務を継続するために必要最小 限の人数が交替で短時間勤務。交代 時の面談を禁止。 その他の職員は、原則、在宅勤務※。
4	Red	遠隔授業※のみ ・教員の在宅勤務を許可 ・学生は入構禁止 当該機関の要請内容によっては 教員も入構禁止、在宅勤務。	装置等の最低限の機能維持以 外の入構を禁止。 ・入構は許可制、記録を取る。	全面禁止	オンライン会議	Level3 体制を厳格化、入構記録を取 る。 当該機関の要請によっては、重要 な管理業務及び緊急業務以外 の入構禁止、在宅勤務。